

地域振興資料館 整備事業を問う

答 年度内完成に向けて取り組む



知念 富信 議員

問 宮平地区資料館整備事業は完了までの工程はどのような計画か。

総務部長 宮平区が実施する伝統芸能等地域振興の資料館で、町から宮平区への補助事業である。事業費は、約2億円で、国の内諾を得られたのが、平成27年12月である。昨年度設計の入札を行い年度内の完了予定が、調整に時間を要し繰り越しとなった。建築は平成28年10月に契約して、平成29年3月完成に向けて取り組んでいる。

問 平成27年度の一括交付金による市町村のソフト交付金執率が78%で、平成29年度は減額査定になるとの報道があった。達成状況の事後評価で市町村1146件のうち達成、おおむね達成で897件、繰越事業102件である。本町のソフト交付金の執行率は何か。

副町長 本町の一括交付金執

行率は78%で平成28年度への繰越事業は5事業である。観光発進施設事業、北丘小西側避難通路整備事業、地域振興資料館整備事業は年度内完了を予定している。LED外灯事業、津嘉山クサティ森保全事業はすでに完了している。

兼城区の町道173号線の整備を

問 町道173号線(兼城区旧太田病院向かい)に通信用の電柱が道路上に立っている。撤去できないか。

副町長 所有者は県で、河川監視用カメラの電柱である。河川改修で一部撤去したが、電柱が残っている状態である。早めに撤去するように県と調整する。

問 旧太田病院前の地形が変わっているが、町は把握しているか。

副町長 旧太田病院前に花鉢

が置かれ通り抜けが困難になっている。排水路側の県有地を道路として活用できないか検討する。

問 側溝の横に水道管が敷設されているが、埋設すべきではないか。側溝を蓋かけにして歩道を設置できないか。

副町長 水道管は南部水道企業団の所有物である。県の専有許可を取得できれば、埋設できる可能性はある。しかし、側溝は築39年になり、近年多発するゲリラ豪雨等による既設排水路の改修が求められている。蓋かけをすると氾濫被害が想定されるため困難と考える。



埋設を要望している水道管(兼城)